



CVIT 日本心血管インターベンション治療学会 関東甲信越支部

第1回 千葉メディカルスタッフ研究会

Chiba Medical-staff Conference 2018

日時

2月4日(日)

会場

千葉メディカルセンター 4階会議室

千葉県千葉市中央区南町1-7-1 JR京葉線「蘇我駅」下車 徒歩6分
参加費:500円 医師:1000円 学生:無料

日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師認定研究会
インターベンションエキスパートナース(INE)認定研究会
心血管インターベンション技師(ITE)認定研究会 (いずれも申請予定)

12:00 開場

12:55 開会のご挨拶

山崎隆文 (亀田総合病院:臨床工学技士)

プログラム

司会

中山一夫 (新東京病院:診療放射線技師)

芳森亜希子 (君津中央病院:臨床工学技士)

基礎教育セミナー 13:00-14:30

- 「放射線技師が解説する心臓の解剖」 大木規義 (国保旭中央病院:診療放射線技師)
- 「おさえておきたい虚血の心電図」 秋池直子 (千葉メディカルセンター:臨床工学技士)
- 「ペースメーカーのキホン」 芳森亜希子 (君津中央病院:臨床工学技士)
- 「右心系の圧と構造」 林 貞治 (千葉西総合病院:臨床工学技士)
- 「撮影角度と冠動脈の見え方」 中山一夫 (新東京病院:診療放射線技師)
- 「放射線被曝に対する工夫と対策」 笠原哲治 (千葉大学医学部附属病院:診療放射線技師)

千葉県内で活躍中のメディカルスタッフの皆様による、基礎教育セミナーを企画致しました。
心臓、冠動脈の構造、狭心症や心筋梗塞の心電図、ペースメーカー、右心系の圧と構造、CAGの見方、
放射線被曝など内容は多岐にわたり、新人さんはもちろん、経験豊富なスタッフの皆さんにも
知識の再確認になること間違いなしです。

コーヒーブレイク 14:30-14:40

特別講演 14:40-15:30

座長 山崎隆文 (亀田総合病院:臨床工学技士)
宮下善隆 (船橋市立医療センター:看護師)

「AMIに対する緊急PCI、そのとき術者は何を考える？」

松村昭彦 先生 (亀田総合病院:循環器内科医師)

コーヒーブレイク 15:30-15:40

シンポジウム「記録」 15:40-17:00

座長 大木規義 (国保旭中央病院:診療放射線技師)
芳森亜希子 (君津中央病院:臨床工学技士)
コメンテータ 阿部晋大 (船橋市立医療センター:看護師)

基調講演 「わかりやすい手術記録の内容」

阿部晋大 (船橋市立医療センター:看護師)

「インターベンションに関する記録 東京ベイ浦安市川医療センターの現状」

- 「看護記録って難しい」 (斎藤久実:看護師)
- 「MEは何をすべき？」 (山本達也:臨床工学技士)

「新東京病院の現状」

- 「より良い看護記録への取り組み」 (渡辺朋美:看護師)
- 「IVUS、OCT計測記録の活用法」 (尾畑弘晶:臨床検査技師)

「千葉大学医学部附属病院の現状」

- 「看護記録の現状と今後の課題」 (梅本真史:看護師)
- 「デバイス記録、被曝線量記録」 (笠原哲治:診療放射線技師)

メディカルスタッフにとって「記録」はとても重要な業務です。患者さんの表情やしぐさ、バイタルサイン、
事前の情報収集、検査歴、検査所見など、各施設で現状どのように取り組んでいるかをお話いただき、
座長、コメンテータの先生を中心に、何がスタンダードで、改善するためにどのようにしたら良いかを
ディスカッションしていきたいと思っております。必見のシンポジウムです!

17:00 閉会のご挨拶

山崎隆文 (亀田総合病院:臨床工学技士)